

一般会計等の財務書類

- ① これまでに形成された資産 3,621億円
- ② 将来世代が負担する債務 778億円
- ③ 過去及び現世代の負担済み額 2,843億円
- ④ 行政サービスにかかったコスト 764億円
- ⑤ 次年度への繰越金 19億円

貸借対照表を
市民一人あたりの
金額に置き換えてみると

資産 233万円	負債 50万円
	純資産 183万円

令和2年度決算分の市の財務書類を公表します



統一的な基準に対応した財務書類の公表

市では、資産や負債、費用をより正確に、包括的に把握するため、平成20年度決算分から企業会計的(発生主義)な手法を取り入れた「地方公会計制度」に基づく財務書類を作成しています。平成28年度決算分からは、これまでの「総務省方式改定モデル」に替わり、国により新たに策定された「統一的な基準」に基づき、一般会計等、市全体、連結の3種類の財務書類を作成しています。

※表示単位未満を四捨五入しています。端数処理のため合計額は一致しないことがあります。

この疑問は、この「財務書類」を見ればわかる！

- 次世代に引き継ぐ資産は？
次世代が負担する借金残高は？ → **貸借対照表**
- 経常的な行政サービスにかかったコストは？
受益者負担でどれほどコストが賄われたか？ → **行政コスト計算書**
- 経常的な行政活動や公共施設整備の財源は？
年間での資金の変動は？ → **資金収支計算書**
- 資産がどのように変動したか？
資産はどのような財源で形成されたか？ → **純資産変動計算書**

資金収支計算書

1年間の資金の増減を性質別に表しています。資金は、1年間で3億円減少し、期末残高が19億円になりました。業務活動収支等の黒字でその他収支の赤字を賄えませんでした。

当期収支 【内訳】	△ 3億円
①業務活動収支	45億円
②投資活動収支	△95億円
③財務活動収支	47億円
元年度末資金残高	22億円
⑤ 2年度末資金残高	19億円
2年度末歳計外現金残高	6億円
2年度末現金預金残高	25億円

貸借対照表

保有している資産と債務を対照表示した一覧表です。上田市では3,621億円の資産を形成してきました。そのうち、純資産である2,843億円は過去及び現世代の負担で既に支払いが済んでおり、負債である778億円は将来の世代が負担していくことになります。

令和3年3月31日現在

①資産 3,621億円 【これまでに形成された資産】	②負債 778億円 【将来世代の負担】
①固定資産(学校、道路、公園など) 3,507億円	①固定負債 698億円
②流動資産(基金、現金など) 114億円	②流動負債 80億円
(うち現金預金) (25億円)	③純資産 2,843億円 【過去および現世代の負担】

行政コスト計算書

1年間の行政サービスにかかったコストと財源を表しています。令和2年度の経常費用は775億円です。経常費用から経常収益(使用料や負担金など)20億円を差し引き、臨時損失を加えた純行政コストは764億円となっています。

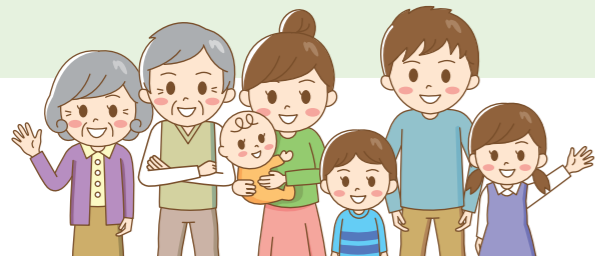
令和2年4月1日～令和3年3月31日

●経常費用 775億円	●経常収益 20億円
①業務費用(人件費、物件費など)..... 318億円	①使用料など 10億円
②移転費用(社会保障給付など)..... 456億円	②その他 10億円
●臨時損失 10億円	●臨時利益 1億円
①災害復旧事業費..... 7億円	④純行政コスト 764億円 (市税などの一般財源で補てん)

純資産変動計算書

貸借対照表の純資産の1年間の変動額を表しています。純資産は、1年間で33億円減少し、期末残高が2,843億円になりました。市税などの経常的な一般財源が純行政コストを下回っているため純資産が減少しました。

期首純資産残高	2,876億円
本年度純資産変動額 【内訳】	△ 33億円
①純行政コスト	△764億円
②財源(市税、補助金など)	731億円
本年度末純資産残高	2,843億円

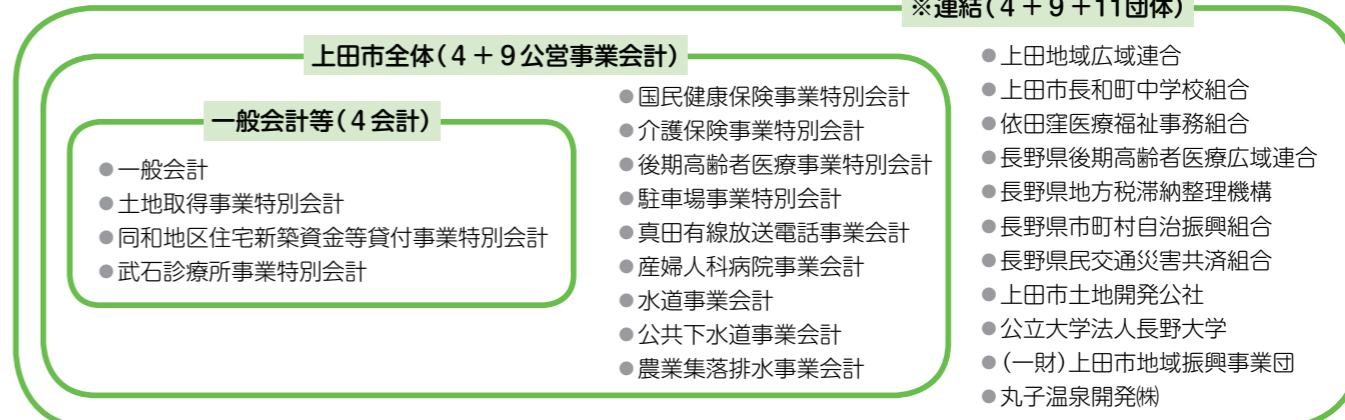


ホームページ
詳しくは市ホームページをご覧ください。
財政課 ☎23・5113

連結の財務書類

●連結範囲

※連結(4+9+11団体)



※連結では、上田市全体・広域連合・一部事務組合・地方三公社・市が50%以上出資している第3セクターなどを対象としています。

●連結貸借対照表

保有している資産と債務を対照表示した一覧表です。これまで5,248億円の資産を形成してきました。そのうち、純資産である3,344億円は過去および現世代の負担で既に支払いが済んでおり、負債である1,904億円は将来の世代が負担していくこととなります。

令和3年3月31日現在

●資産 5,248億円	●負債 1,904億円 【将来世代の負担】
①固定資産(学校、道路、公園など) 4,938億円	①固定負債(地方債など) 1,722億円
②流動資産(現金、基金など) 310億円 (うち現金預金) (204億円)	②流動負債 182億円
	●純資産 3,344億円 【過去および現世代の負担】

